

# オバマ来日に合わせ、「住民説明会」!?

5月着工、12月運用開始、軍人・軍属160人を配置

# 住民の「安全・安心」置き去りに

## 「府民の会」が見解 防衛省に抗議、米軍基地の撤回を!



・第1期工事完成後（2014年）：資料・防衛省



・第2期工事完成後（2017年）：資料・防衛省



・現在、フェンスで囲まれている米軍基地予定地。外観を考慮し、アクリル板で見えるようにするというが...  
・左は、防衛省が立てた立入禁止の看板

切られました。

### 日米地位協定で安全・安心置き去り

また、「事故対策」も「交通事故のみ」を想定したもので、参加者から「通訳の配置は？」「賠償保険は？」「基地に逃げ込まれても警察は捜査できるのか？」などの質問に「検討する、伝える」というだけで、まともに答えられず、「レーダーが攻撃されたら？」には「撃ち落とす」と集団的自衛権の先取り発言も。日米地位協定のもとで、米軍は守られても、住民の安全は守られないことが明らかになりました。

### 『府民の会』撤回求め、行動強化

『京都に米軍基地いらない府民の会』は、住民の安全・安心を無視した「説明会」を開催し、工事着工を強行しようとする防衛省に対し強く抗議するとともに、京丹後市長と京都府事に対して、丁寧な説明もないまま、また必要とされる環境影響評価実施もせず、工事着工は行ってはならないと要請するとともに、知事・京丹後市長に米軍基地受け入れを撤回するよう強く求めるものです。

『府民の会』は、引き続き京都への米軍基地建設に反対し、その撤回を求めて、署名や抗議行動を強めていくものです。【見解は裏面に】

### 防衛省、工事着工へ異常な「説明会」

防衛省近畿中部防衛局は、急きょ4月13日から17日に、京丹後市内で4回にわたりXバンドレーダー工事に係わる「地元説明会」を開催しました。

「説明会」では、防衛省・榊賀企画部長が、米軍による基地建設工事を、5月に着工し、10月にはレーダー本体等を搬入し、12月末には運用開始とする。工事着工時には米軍関係者7名、レーダー本体搬入時以降は米軍人20名、米軍属約140名の合計160名の軍人・軍属が配置されることとなる、と口頭で説明しました。

しかし、説明が口頭で行われるという異常なもので、地元から出された36項目の質問・疑問に対する回答も全て口頭というもの。一方的に設定した終了時間を口実に、参加者の説明の継続を求める声さえ無視し、騒然とした中で打ち

・発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会(略称：京都に米軍基地いらない府民の会)

連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149

## ■米軍による住民無視の基地建設工事着工強行と防衛省の不誠実な地元説明会についての 京都に米軍基地いらない府民の会の見解

2014年4月22日  
京都に米軍基地いらない府民の会

- (1) 防衛省近畿中部防衛局による「TPY-2レーダー工事に係わる地元説明会」が、急遽4月13日から17日にかけて、京丹後市内で4回開催された。
- (2) 昨年9月19日の知事による米軍基地建設協力表明以来7ヶ月ぶりに開催された住民説明会において、近畿中部防衛局榭賀企画部長からは、米軍による基地建設に係わる説明が口頭で行われるという異常なものであった。  
また、説明会も一方的に設定した終了時間を口実に、参加者の説明継続を求める声を押し切り、騒然とした中で打ち切られた。
- (3) 榭賀企画部長の口頭説明によると、米軍による基地建設工事は、5月工事着工、10月レーダー本体等搬入、12月末運用開始となり、工事着工時には米軍関係者7名、レーダー本体搬入時以降は米軍人20名、米軍属約140名の合計160名の軍人・軍属が配置されることとなる。  
京都に米軍基地いらない府民の会は、安全・安心に係わる住民の不安に応えることなく、かつ「日本環境管理基準」にもとづく環境影響評価の実施とデータ公表もないまま、基地建設工事が着工されることに強く抗議し、工事着工の中止を要求する。
- (4) 防衛省近畿中部防衛局による説明と地元から出された36項目の質問・疑問に対する回答も全て口頭という異常な事態に対し、文書による責任ある説明と回答をコンプライアンスの問題として、防衛省に要求する。
- (5) 山田京都府知事は、4月16日の選挙後の初登庁での記者会見で、米軍基地配備計画について「もっと、きちっとやってくれ」と丁寧な説明を求めたと述べたと伝えられている。  
近畿中部防衛局の住民説明は、知事の求めている丁寧な説明からほど遠いものである。府民の会は、安全・安心に係わる不安への丁寧な説明もないまま、また必要とされる環境影響評価実施をしないまま、工事着工は行ってはならないと京丹後市長と京都府知事に対して、要請する。こうしたもて、知事・京丹後市長に米軍基地受け入れを撤回するよう強く求める。
- (6) 京都に米軍基地いらない府民の会は、米軍による工事着工と住民不在の防衛省に対して強く抗議するとともに、以下の緊急の提言をおこなう。  
府民の会は引き続き、京都への米軍基地建設に反対し、その撤回を求めて、署名や抗議行動を強めていく。
  - ① 住民不在、コンプライアンスもないままの米軍による基地建設工事着工は中止せよ！
  - ② 京都府・京丹後市は、米軍による日本環境管理基準にもとづく環境影響評価の完全実施とデータの全面公表を、日本政府と米軍に求めよ！
  - ③ 地元の36項目の質問・疑問に対して、文書による責任ある回答を防衛省は行え！
  - ④ 京都府知事は、防衛省に対して京都府民への説明会の実施を求めるべきである。

以上